

平成26年上半期 火災・救急・救助統計

上半期（平成26年1月1日～平成26年6月30日まで）の火災・救急・救助の各概況（速報値）は次のとおりです。

火災 出火原因の33%が「たき火」

上半期に発生した火災は72件で、昨年同時期と比較すると17件減少し、うち建物火災は8件減少しましたが、林野火災は9件増加しました。出火原因の1位は「たき火（33%）」で、火が周囲の枯れ草や可燃物に燃え移って火災に至っています。風が強い時や空気が乾燥しているときには、火の取り扱いに十分注意しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分		平成26年上半期	平成25年上半期	比較
火災件数合計（件）		72	89	▲17
火災種別（件）	建物火災	28	36	▲8
	うち住宅火災	10	20	▲10
	林野火災	14	5	9
	車両火災	3	5	▲2
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	27	43	▲16
死者（人）		2	4	▲2
負傷者（人）		6	5	1

出火原因

▲は減を示す

出火原因	平成26年上半期		平成25年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	1	0	5	3	▲4	▲3
こんろ	1	1	5	5	▲4	▲4
風呂かまど	0	0	1	1	▲1	▲1
炉	1	0	1	0	0	0
焼却炉	0	0	1	0	▲1	0
ストーブ	3	3	3	3	0	0
こたつ	0	0	1	1	▲1	▲1
電気装置	1	0	0	0	1	0
電気機器	1	1	5	0	▲4	1
電灯・電話等の配線	2	1	1	0	1	1
配線器具	0	0	1	1	▲1	▲1
たき火	24	0	11	0	13	0
溶接機・切断機	0	0	2	0	▲2	0
灯火	1	1	1	1	0	0
火入れ	0	0	8	0	▲8	0
放火	2	0	0	0	2	0
放火の疑い	13	0	13	3	0	▲3
その他	5	0	10	0	▲5	0
不明・調査中	17	3	20	2	▲3	1
合計	72	10	89	20	▲17	▲10

救 急**軽症患者が全体の約 52%**

上半期の救急出動件数は7,028件でした。事故種別では急病が4,412件と最も多く全体の約63%を占め、次いで一般負傷が1,051件(約15%)、交通事故が646件(約9%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は206件、搬送人員は208人増加しました。

また、救急出動全体の約52%が軽症患者でした。軽いけがや病気(擦り傷、歯痛、風邪など)の場合は、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが本当に救急車を必要としている貴い命を救うこととなります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

区 分	平成26年上半期	平成25年上半期	比 較
出 動 件 数	7,028	6,822	206
搬 送 件 数	6,337	6,138	199
不 搬 送 件 数	691	684	7
搬 送 人 員	6,423	6,215	208

救 助**交通事故による救助出動が最多**

上半期の救助出動件数は61件で昨年と同じ件数でした。そのうち、交通事故35件で全体の約57%を占め、次いでその他の事故10件、水難事故7件、建物等による事故5件、火災4件でした。

出動件数61件のうち、現場で活動した件数は40件で39人を救助しました。活動件数に入っていない21件は、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近の住民などによって救出されたものです。

救助概況

区 分	平成26年上半期	平成25年上半期	比 較
出 動 件 数	61	61	0
活 動 件 数	40	33	7
救 助 人 数	39	33	6